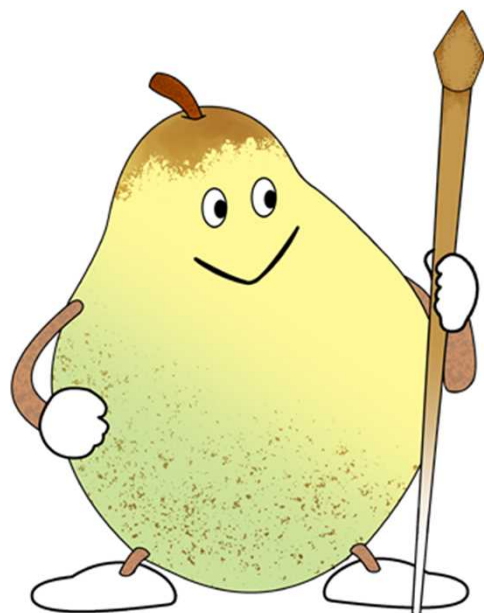


第2回鳥取県中部地震復興会議



復興、そして福興

平成29年4月4日



鳥取県中部地震復興会議

復興に向けた現状、課題、取組の方向性を共有し、官民の垣根を越えて連携する「**鳥取県中部地震復興会議**」を設置（平成29年1月13日）。

復興に向けた取組の方向性

マイナスをゼロに戻すのみならず、**震災を乗り越えたことで地域が強くなっていく、プラスに転じていくよう、さらにもう一歩前に進めることが必要**

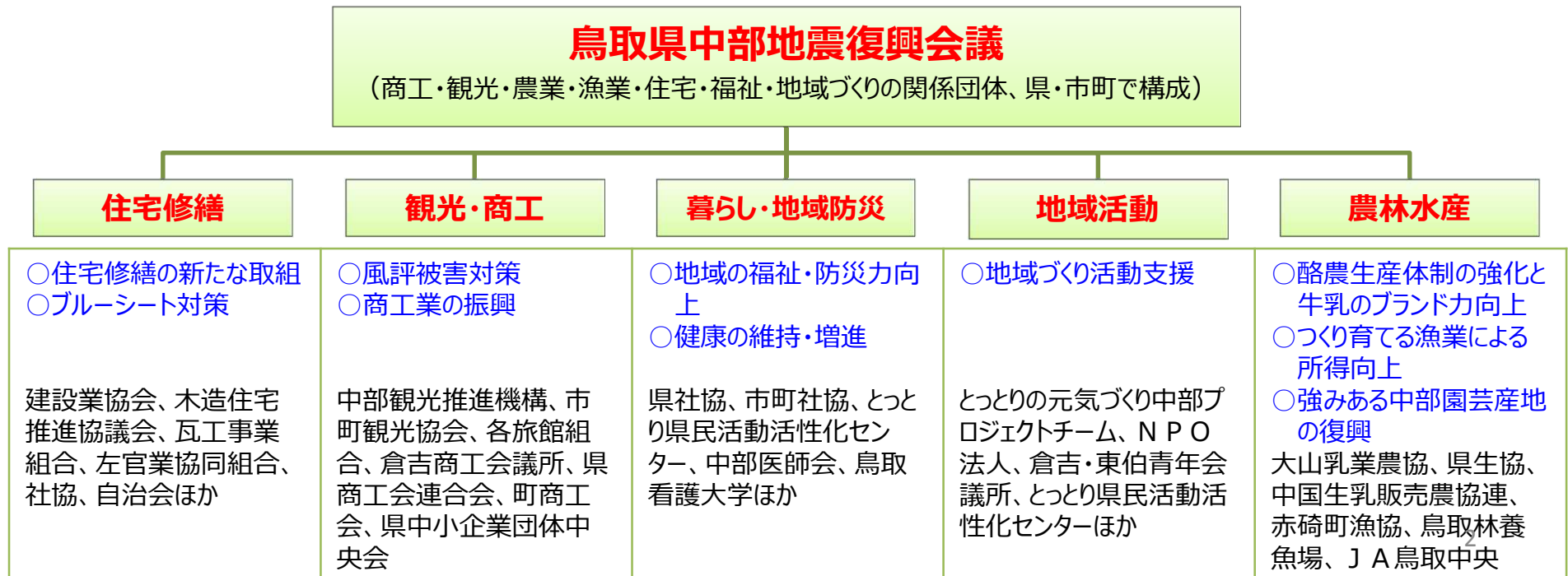
震災を経て再確認した鳥取県中部の姿

- ▶ 地域の「絆」
- ▶ 産業のポテンシャルの高さ
- ▶ 交流拡大の可能性

地震を乗り越え、「絆」を活かし

- ① **地域防災力の向上**
- ② **元気な地域づくり**

5つのワーキンググループを設置して、分野ごとに復興に向けた取組を加速



現状

➤ 住宅

- 「被災者住宅再建支援制度」により、被災規模の小さい一部損壊住宅も含めて支援
〔交付状況（交付決定ベース）〕住宅再建支援金：9市町、1,707件、576,900千円
【3/30現在】 住宅修繕支援金：13市町、10,421件、465,520千円
- 12月9日に中部の建設・建築関係各団体による「中部地震住宅修繕支援センター」が設置。住宅修繕相談対応を行うとともに、自治会単位で契約をまとめて工事発注を行う取組や、県外職人の招致を行う組合等を支援する住宅修繕促進事業の受付窓口として、県民の迅速な修繕工事を支援

➤ 観光

- 白壁土蔵群では、とっとりで待っとなりますキャンペーンや中部地震復興応援バス商品支援の効果もあり、連日多くの観光バスで賑わっている。観光ガイドも多く利用され、例年以上の観光客が訪れていると感じる。これから、桜の季節に向けて問い合わせも増えている。（3月30日倉吉マイス協会に聞き取り）
- 三朝温泉、はわい・東郷温泉では、1,2月の雪害による影響で多くの宿泊キャンセルがあったが、3月は、前年同月比を大幅に上回る宿泊人数となる見込みであり、とっとりで待っとなりますキャンペーンや中部地震復興応援バス商品支援の効果が見れているようだ。（3月30日三朝温泉旅館協同組合、はわい温泉・東郷温泉旅館組合に聞き取り）
- 「とっとりで待っとなります」キャンペーン（国内向け旅行商品造成支援）による旅行催行
送客実績【3/20現在・速報値】 19,112人（募集型企画旅行：17,528人、受注型企画旅行：1,584人）
- 鳥取県中部地震復興応援バス（団体バスツアー支援）によるバスツアー催行【3/23現在・速報値】
送客見込：1,101台 38,134人（宿泊型バス支援：619台 18,656人、日帰り型バス支援：463台 17,198人）

現状

➤ 地域防災力

- 今回の地震の検証作業を進めるとともに、防災・危機管理基本条例の改正、地域防災計画の改訂に向けた検討を実施
- 県（中部総合事務所）、市町及び社協等において、今回の地震を踏まえた地域防災力向上を図るためのシンポジウム、研修会を開催し、地域の機運を醸成
- 県の新年度予算において、支え愛マップ作成や地域防災力向上に係る新規予算を計上

➤ 地域づくり

- 活動団体が給食支援を行ったり被災者向け等の復興イベントや地域コミュニティの場の修繕が行われている
- 4月1日震災復興活動支援センターを設置し、復興に向けた住民活動・民間活動への伴走支援を開始
- 県の新年度予算において、復興を促進し地域を元気にするための住民団体やNPOなど多様な主体による活動に対する補助金を創設

➤ 商工業

- 発災直後より関係各機関が連携して企業支援を実行する体制（**震災対策企業支援ネットワーク**）を構築（構成員：商工団体・金融機関・保証協会・産業支援機関・経産局・労働局・県）
- **5年間無利息・無保証料の災害緊急対策資金（中部地震対応枠）**を新設（28.10.24～）
（29.3.24現在 保証承諾額463件、約114.8億円）（うち中部地区283件、約59.6億円）
- **県版経営革新総合支援補助金（復旧・復興型）**を新設（28.11.14～）
（29.3.30現在 申請額311件、約4.1億円）（うち中部地区279件、3.7億円）

現状

➤ 農業

- 被害施設・設備について負担軽減を図りつつ早期復旧
⇒共同利用施設、林道・農地被害等の災害査定は既に終了し、来期に向け復旧中
(共同利用施設は県・市町支援により末端補助率9/10と激甚災害指定並みの支援)
- 強みある中部梨産地の復興 ⇒「王秋」の面積拡大を推進
- 酪農生産体制の強化と県産牛乳ブランド力向上 ⇒「白バラ認証制度」の新規導入を推進
- つくり育てる漁業による所得向上 ⇒ 琴浦サーモンを地元の代表産品として育てていくことを推進

➤ 土木

- 災害査定について、市町への支援を図りつつ、本震・余震含めて1月末までに全て終了。災害復旧工事を3月までに全て発注・契約完了し、実施中。市町への支援も継続中。
- 土砂災害危険箇所について、被災直後の緊急点検を完了。対応必要箇所のうち地元調整済箇所について本復旧に向けた調査を完了し、その他については継続して地元調整中。また、1～2月の豪雪に伴う災害の危険性把握のため緊急点検を実施し、点検結果について地域住民へ注意喚起。

➤ 公共施設

- 【倉吉未来中心】ゴールデンウィーク前後に全面再開を目指し、アトリウムの実施中。
- 【倉吉体育文化会館】3月10日に給水管が復旧し、全館再開済。

➤ 文化財

- 【三徳山】仮設入山ルートを整備し、4月18日の入山再開を目指す。
- 【倉吉伝建】現在19棟が工事着手済。引き続き所有者と早期の修理に向けて協議を進め、倉吉市としてはH31年度までに修理を終える計画。

住宅修繕WG

➤ 被災住宅の再建を促進するため、県・業界団体により住宅修繕WGを立ち上げ、官民が連携して早期修繕の取組方策を検討・実施

〔構成〕 倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、(一社)鳥取県建設業協会、(一社)鳥取県中部建設業協会、(一社)鳥取県木造住宅推進協議会、鳥取県建築連合会、鳥取県瓦工事業組合、鳥取県左官業協同組合、鳥取県

回	主な内容	進捗状況・成果
第1回 29.1.24	<p>○住宅修繕に向けた新たな取組(案) ⇒修繕支援センターを通じて、自治会単位で契約を取りまとめて工事発注を行うモデル的な取組を提案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町では自治会への事業説明は終了 ・倉吉市内1地区3棟で契約済 ・倉吉市内2地区80棟程度がこの枠組みへの参加意向あり ・その他2地区も申込みを検討中
第2回 29.2.13	<p>○住宅修繕促進支援事業(案) ⇒県外から職人の招致を行う職人組合等に対して、修繕支援センターを通じて経費支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定額3,000円/人・日 (宿泊無しは旅費のみ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・瓦組合:2/15から島根県3~5名/日、2/22から3/11までと3/21から兵庫県浜坂地区6名を招致 ・左官組合:3/6から真庭市5~6名/日、兵庫県香住地区2名を招致 ・建築連合会:3/6から松江市4名を招致 ・北栄町、湯梨浜町が上乘補助を検討中
第3回 29.3.27	<p>○自治会単位の工事発注の取組(モデル事業)、住宅修繕促進支援事業の取組状況</p> <p>○取組に係る問題点の洗い出し、各市町との意見交換</p>	<p>○被災住宅の修繕は、天候の回復により順調に進みつつある。</p> <p>○既に見積り・受注済みの住宅については、夏~秋頃には修繕完了の見込み。</p> <p>○瓦工事業組合・左官業組合・建築連合会では、県東・西部地区及び県外職人の応援を得ているところであるが、建設業協会としては職人不足を感じている。</p> <p>○自治会単位での取組は、倉吉市内3地区について担当する協会や組合等を割り当てたところ。左官業組合では、各戸個別に訪問し、聞き取り・見積もり等を行っている最中。</p> <p>○自治会単位での取組では、見積り等を依頼していない世帯もこれを機に修繕に参加する等、効果も見られる。</p>

観光・商工WG

メンバー 各観光協会、商工会連合会、商工会等、観光連盟、中部市町 ほか

1 ワーキンググループ開催

・ 2月8日 第1回会議開催

「中部地域の観光・商工団体が連携して中部の賑わいを形成していく」ことを共有し、中部イベントカレンダーを作成することを決定。

・ 3月23日 第2回会議開催

4月～6月のイベント等を活用して、賑わいや消費拡大を創出していくことを検討。

- ①インバウンドを含めた賑わいと消費拡大を創出(中部を中心としてインバウンド受入等を推進)
- ②新たな事業展開の一つとして商工事業者の海外展開への支援等も検討中。(商工団体)

2 具体的な取組

3月中旬 中部イベントカレンダー「4・5・6月は鳥取中部に行こう」を作成

観光パスポート(トリパス)を活用した中部への誘客リーフレットの作成

3月11、12日 くらよし復活祭! / ありがとう祭♪ 約9000人が来場

* 3月11日 くらよし復活祭! 3月12日 くらよしありがとう祭♪

声優トークショー、声優ミニライブ、アニソンイベント、限定版倉野川市住民票発行等

3月18日 「コナンの里」米花商店街オープン 約8000人が来場

* ファン・観光客から要望の強い飲食・物販施設が、コナン通りの中間点にオープン

* 新たな集客スポットができコナン通りの賑わいづくりに弾み

4～6月のイベント等

4月 4/1～5/20倉吉春祭り、4/2～鳥取蒜山トリミングバス、4/2倉吉打吹流しびな、
4/8しだれ桜の里祭り、4/23船上山桜祭り・桜杯相撲選手権、
4/29～5/7三朝町日本遺産ウィークなど

5月 5/1倭文神社例大祭、5/7アザレアのまち音楽祭など

6月 6/18スイカ・ながいもマラソン、6/3,4復興記念ウォーク(未来ウォーク)、6/24,25食

※今後も復興に向けて各種誘客の取組を検討していく



暮らし・地域防災WG

地域福祉・防災

(メンバー) 中部 1 市 4 町防災担当課、福祉担当課、中部 1 市 4 町社会福祉協議会、鳥取県社会福祉協議会、とっとり県民活動活性化センター、県福祉保健部、危機管理局、元気づくり総本部、県土整備部、中部総合事務所

第 1 回 1/31 (火)

(概要)

- ・ 今回の地震の検証に向けて、各市町の聴き取り結果等を集約
- ・ 支え愛マップの作成に当たり、水害・土砂災害防止の観点から県土整備部が防災情報提供の支援を行うことを周知
- ・ その他
 - ① 消防団への情報伝達、消防団と自治会・自主防災組織との役割の見直しが必要
 - ② 支え愛マップ作成の現状（作成プロセスが役に立った一方、リーダーがいない集落では作成が進んでいない）
 - ③ 災害ボランティアセンター開設の経験から得られた課題（備蓄物資の規格、住民の利用が低調）

第 2 回 3/27 (月)

(概要)

- ・ 第 1 回WG以降の動きについて、県から、中部地震を乗り越える防災対策会議、支え愛地域づくり推進事業に向けた関係者打ち合わせの状況を報告し、各市町、社協と情報を共有。各市町の状況を報告・情報共有。
- ・ 平成 29 年度の取組について
 - [県]・・・「防災及び危機管理条例の改正」、「地域防災力向上に資する取組（事業例）」、「支え愛地域づくり推進事業」について説明。
 - [市町・社協]・・・①新年度に県が実施する防災士養成研修に、地域から推薦があった住民の方も参加してもらう予定。
 - ②今年度作成した防災マップを用いて、図上訓練を行う。
 - ③ボランティアセンターの運営マニュアルとボランティア養成講座を実施する。等の報告があった。
 - [県社協]・・・新年度に実施する支え愛マップの関係者連絡会について、社協職員向けに地域に働きかける手法を学ぶ研修や自治会関係者や民生・児童委員の方にも入ってもらい、実際に支え愛マップをモデル的に作成するワークショップを行う等、開催内容について検討を進めている旨報告。

暮らし・地域防災WG

健康維持・増進

第1回 2/6（金）

（メンバー）中部1市4町保健担当課、地域包括支援センター、県福祉保健部、中部総合事務所

（概要）

- ・ 各市町の要支援者等への対応状況を確認
 - 通常の保健福祉事業の中で、個別支援の必要な者への対応を継続中
 - 今後の住宅修繕の進展を見据えて、住宅修繕WGと相談体制の連携を図る
 - （2/13(月)の第2回住宅修繕WGにおいて、事業者向けに保健相談体制の周知を実施
 - ⇒ 中部総合事務所福祉保健局を窓口とする）
- ・ 今回の経験を踏まえ、平時の備えの強化について、庁内関係課、社協、地域包括支援センター等との協議を開始していることを確認
 - 高齢者と合わせ、平時から障がい等による要支援者の把握を充実強化
- ・ 健康な地域づくりに向けて、鳥取看護大学との課題共有の場を設けることを確認
 - ⇒ 2/17(金)の鳥取県と鳥取看護大学・鳥取短期大学との連携協議会において、今後の方向性を協議
 - 3/5(日)の「まちの保健室」事業活動報告会において、中部地震時におけるまちの保健室活動の状況を関係者と共有

地域活動WG

震災直後から活動団体等の実施する復興に向けた取組を支援しており、平成29年度も引続き震災復興活動特別支援事業として支援するとともに、**震災復興活動支援センター（4/1設置）**による地域の元気をつくる動きの活発化やコミュニティの強化を支援する。

復興に向けた取組への支援

[平成28年度トットリズム推進（震災復興支援）補助金]

これまでに19件の事業を支援

（主な事業内容）

- ・給食支援
- ・復興祈念ウォーク、コンサート、落語会等イベント
- ・高齢者宅の片付け支援
- ・地域コミュニティの場の修繕 など

地域活動WGの動き

（メンバー）

地域づくり団体、青年団体、とっとり県民活動活性化センター、中部市町 他

2017.2.10 第1回WG

- ・今回の地震で「地域コミュニティ」「地域の力」の重要性を再認識
- ・住宅や産業の復興に併せて、地域活動を活性化させる。

重点取組

- ・震災復興活動特別支援事業補助金（総額：30,000千円）を活用した地域活動の促進
- ・震災復興活動支援センターによる民間活動のサポート
- ・震災復興活動もトットリズム県民運動として『ととりの元気』を発信！

現在の動き

地域活動WG参加活動団体以外の団体を訪問し、平成29年度の補助制度等の説明や4月以降の活動について意見聴取を行っているところ。

2017.4月（予定）第2回WG

- [議題（想定）]
- ・連携した震災復興活動の検討
 - ・震災復興活動の集約及びその広報手法
 - ・トットリズム県民運動との連携 等

中部地震からの復(福)興に向けて
中部から鳥取の元気を発信します！



農林水産WG

農林水産業の速やかな災害復旧を図るとともに、産地再生産に向けた動きを加速する。

酪農WG

目指す姿：生産体制の強化と県産牛乳のブランド力向上

(開催日) 1月19日
(メンバー) 大山乳業協同組合、県生活協同組合、中国生乳販売農業協同組合連合会、県畜産推進機構、県(農業戦略課、畜産課)
(協議結果)
○中部酪農産地の活性化・復興に向け、より一層のブランド力向上が必要との意見で一致し、「白バラ認証制度」の新規導入を具体的に推進していくこととした。

水産WG

目指す姿：つくり育てる漁業による所得向上(琴浦サーモン(仮称)のブランド化等)

(開催日) 1月31日
(メンバー) 赤碕町漁業協同組合、(株)鳥取林養魚場、琴浦町、県(水産課)
(協議結果)
○琴浦サーモン(仮称)の陸上循環濾過養殖については、地元の雇用増進と地域経済活性化の起爆剤として位置付け、地元を代表する産品として育てていくことを確認した。

野菜果樹WG

目指す姿：強みある中部梨産地の復興(果樹新品種、10億円・1億円野菜品目の創出等)

(開催日) 1月27日、3月7日
(メンバー) JA鳥取中央梨生産部、県(生産振興課、中部農林局)
(協議結果)
○「王秋」については、今後、中部梨産地の主力品種として面積拡大を図っていくことを確認した。
○低コストハウスのさらなる増棟などにより、新たな10億円・1億円品目を創出する。

H29年度の動き

各地域で実施した白バラ認証制度の説明会(2~3月)を踏まえ、全戸参加を目指して29年度の具体取組を決定。

建設中の養魚場の整備を進めるとともに、琴浦サーモン(仮称)のブランド化について具体的に取組を決定し、実施に移す。

「王秋」を特別対策品種として生産振興を進め、新技術を活用した実証モデル園(3箇所)の今秋設置を目標に推進。

鳥取県中部地震復興会議WGの今後の予定

WG名	今後の予定
住宅修繕	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 開催予定：次回WGを5月下旬から6月上旬に開催予定。それ以降も定期的（2か月に1回程度）に開催予定 ➤ 主な議題：住宅修繕の進捗状況の確認、問題点の抽出及び対策の検討
観光・商工	<ul style="list-style-type: none"> ➤ インバウンドを含めたにぎわいと消費拡大の創出や商工事業者の海外展開の具体の取組をテーマに3回目を予定。
暮らし・地域防災	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 新年度は東・中・西部の各圏域で防災、福祉関係者による「支え愛マップを活用した要支援者対策に係る関係者連絡会」を開催することとしており、同連絡会と一体的にWGを開催（第1回は5月下旬開催予定）
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 4月中に第2回WGを開催予定 <ul style="list-style-type: none"> [議題] 連携した震災復興活動の検討、震災復興活動の集約及びその広報手法、（想定） トトリズム県民運動との連携等 ➤ その後は必要に応じて開催し、地域による復興活動の進ちょく管理や情報共有などを行う予定
農林水産	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 4月以降、各WGを順次開催 <ul style="list-style-type: none"> 酪農WG⇒県産牛乳のブランド力向上 水産WG⇒琴浦サーモンのブランド化等 野菜果樹WG⇒生産基盤の強化等

復興の概成へ

平成29年度中に以下の目指すべき姿を作り上げて「復興」を概成させる。

項目	目指す姿
住 宅	● 住宅の修繕が概ね終了（住宅の屋根からブルーシートが消える）
観 光	● 観光地としての賑わいが拡大（夏場や年末年始の入り込み状況）
地域防災力	● 防災対策の充実強化（自主防災組織率の向上、地域防災計画の改訂、支え愛マップづくり取組自治会の増加等）
地 域 活 動	● 復興に向けたNPO、住民団体等の地域を元気にする活動の活性化
商 工 業	● 地域産業を活性化（新たな事業展開に向かう事業者を増加） ● 復興を支える産業の人材を確保（宿泊業、サービス業等）
農 業	● 共同利用施設、農地、農業用施設、林道の災害復旧工事が終了 ● 地域農林水産業の活性化（梨「新甘泉」「王秋」の面積拡大、「白バラ認証制度」の新規導入、琴浦サーモン（仮称）のブランド化等）
土 木	● 災害復旧工事が終了
公 共 施 設	● 倉吉未来中心の全面的再開
文 化 財	● 【三徳山】仮設入山ルートを整備し、4月18日に入山再開予定 ● 【倉吉伝建】現在19棟が工事着手済。引き続き所有者と早期の修理に向けて協議を進め、倉吉市としてはH31年度までに修理を終える計画

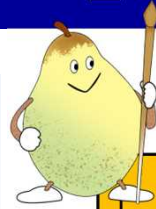
復興への道筋



復興関連予算 【平成29年度事業】

平成29年度事業
費
約34億円

復興関連予算総額
約103億円
(H28補正予算+H29当初予算)



鳥取県中部地震で受けたマイナスをゼロに戻すのみならず、プラスに転じていくべく、震災の経験を活かした安心の地域づくり、観光風評被害対策、住宅耐震化・生活復興支援、経済産業・農業分野の復興・振興、学校の防災力の強化、公共インフラの復旧対策を行うとともに、雪害対策に取り組む。

震災の経験を活かした地域振興・地域防災力の強化

	2.3億円
・(新)鳥取県中部地震検証等事業	240万円
・(新)地域防災リーダー養成事業	50万円
・(新)震災復興活動支援センター設置事業	130万円
・(新)震災復興活動特別支援事業	300万円
・(新)災害時における支え愛地域づくり推進事業	70万円
・(新)災害時における福祉避難所等の開設・運営支援事業	100万円
・(新)災害時における外国人観光客対応支援事業	200万円
・鳥取県防災・危機管理対策交付金事業	690万円

他

鳥取県の元気な情報発信・イベント等

	2.4億円
・(新)「とっとりで待っています」I J Uターン推進事業(鳥取県人のあたたかさ発信事業)	100万円
・「とっとり年は鳥取へキャンペーン」	1660万円

他

住宅耐震化・生活復興支援

	1.3億円
・(新)【H28.2月補正】住宅修繕促進支援事業	600万円
・住宅・建築物耐震化総合支援事業	1170万円

他

経済産業分野の復興・振興

	2.7億円
・(新)がんばる企業を応援！特別金融支援事業	1610万円
・鳥取県版経営革新総合支援事業<復旧・復興型>	1000万円

他

農林水産業の復興・振興

	3.2億円
・(新)鳥取梨生産振興事業(元気な鳥取梨産地復興・発展加速化事業)	1300万円
・(新)がんばろう！園芸産地未来づくりパワーアップ事業	9100万円
・しっかり守る農林基盤交付金	20500万円

他

学校の防災力の強化

	18.8億円
・(新)避難所公立学校体育館の環境整備補助事業	200万円
・(新)避難所指定県立学校のWi-Fi環境等整備事業	3900万円
・(新)県立学校体育館多目的トイレ整備事業	5200万円
・私立学校施設整備費補助金	45400万円

他

公共インフラの復旧

	3.5億円
・建設災害復旧事業(県土)	14900万円
・治山事業(県土)	5400万円
・耕地災害復旧事業(農林)	5100万円

他

1月以降の雪害対策(H28.2月補正)

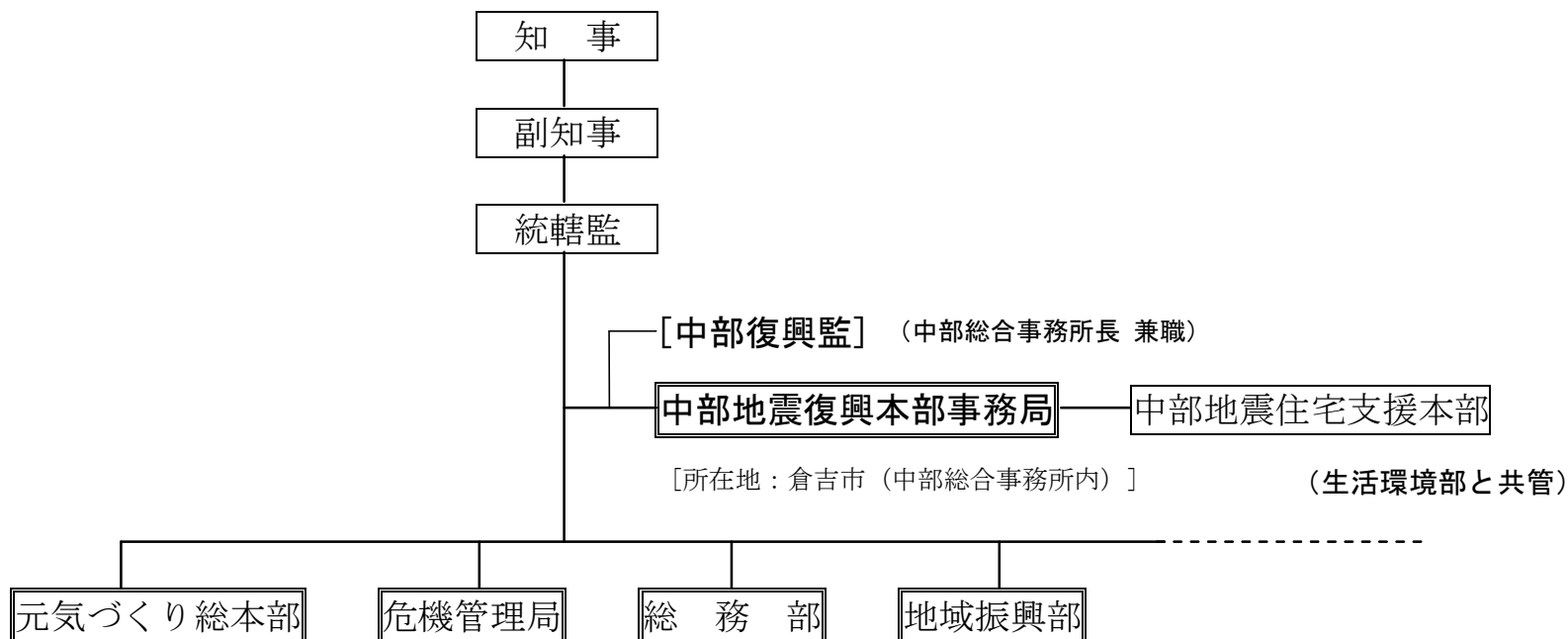
	16.2億円
・(新)平成28年度雪害園芸施設等復旧対策事業	3300万円
・(新)平成28年度雪害木材加工・流通施設等復旧対策事業	3000万円
・(新)平成28年度鳥取県雪害漁船等復旧対策事業	700万円
・社会資本整備総合交付金(除雪)	1,11300万円

他

平成29年度組織概要（復興関連）

- 中部地震からの一日も早い復興と、震災前にも増して一層力強い地域づくりを進めるため、被災住宅の支援をはじめとする復興の取組を迅速かつ強力に展開する体制を整備。

⇒ 知事の直轄組織として「中部地震復興本部事務局」を設置し、取組体制を強化。この事務局の所在地は中部とし、市町村や4/1設置の震災復興活動支援センター等と密接に連携して活動。また、中部地震住宅支援本部を生活環境部と共管する。



鳥取県中部地震からの復興に向けた元気な動き

日	動き・イベント等	概要
1/13～	「合格まちがい梨」第2弾の発売	「もっと合格まちがい梨」として、地震で落ちなかった梨（あたご梨）を、三徳山投入堂のお守り、開運八社巡りの手ぬぐいとともに、3,939円（さくらさく）で販売。
1/14	響かせようトットリズム♪とっとり元気フェス2017	地域づくり活動への参加意欲の向上を図るとともに、活動団体同士の交流を深め、活動のさらなる広がりを図り、「トットリズム県民運動」を推進することを目的にハワイアロハホールで開催し、復興に向けて中部からとっりの元気を発信した。
1/27	倉吉未来中心小ホール再開	大規模な空間を有するアトリウムと大ホールに損傷が集中しており、被害の少なかった小ホールは、ホワイエのガラス壁面に専用の出入口を設置して再開。
2/12～	スパークリングワイン「とっとりSKY～Essor（エソール）～」発売	北条ワイン醸造所が、倉吉凧工房とのコラボにより、「飛躍する」などのメッセージを含めた縁起の良いスパークリングワイン「とっとりSKY～Essor（エソール）～」を発売。※倉吉凧工房の和凧「倉吉いか」をセット。外箱には辰巳琢郎氏（日本ワインを愛する会副会長）の応援メッセージ付き。（税込7,777円）
2/17	麒麟ビールによる鳥取県中部地震復興支援策の発表	麒麟ビール（株）が本年7月18日から発売する一番搾り「鳥取に乾杯」「島根に乾杯」の売上1本につき2円を鳥取県に寄付し、観光振興を支援。 「鳥取に乾杯」の350ml缶の背面に「倉吉白壁土蔵群」のイラスト、外箱等に「食のみやこ鳥取県」のロゴが入る予定。
2/23	スポーツライミングアジア選手権倉吉開催決定	タイ・バンコクで開催された国際スポーツライミング連盟（IFSC）アジア大陸評議会の会議で、アジア選手権（毎年開催）の2018（平成30）年開催地が鳥取県（倉吉市、5月又は6月）に決定した。

鳥取県中部地震からの復興に向けた元気な動き

日	動き・イベント等	概要
3/10	倉吉体育文化会館完全復旧	地震により高架水槽が傾き、至る所から水漏れが発生。高架水槽の修理は年末に終え、この度給水管を復旧させたことで、給水管系統からの水漏れが解消された。
3/11～27	TOTTORIちゅうぶ元気プロジェクト 「鳥取県ちゅうぶ落語会」	鳥取県中部地域の皆様の元気づくりを図るため、文化庁、(公社)日本芸能実演家団体協議会主催の特別公演として“落語会”を木戸銭無料で7公演開催。
3/11～12	くらよし復活祭！・ありがとう祭♪	復興支援に対して感謝を伝え、観光客と市民の交流を図るため、白壁土蔵群周辺で「ひなビタ♪声優トークショー」などを開催。全国から2日間で約9,000人のひなビタ♪ファンが集結した。
3/18	「コナンの家」米花商店街オープン	コナン通りの賑わい拠点としてオープンし、工藤邸の門扉や書斎をモチーフとしたフォトスポットが設けられ、ファンの間で評判となっている。全国から来場者があり、オープンから3日間で約4,000人の商品購入があり、由良宿全体に人の流れが生まれている。
3/18	倉吉未来中心大ホール再開	舞台吊り物機構や客席天井の復旧工事が完了し、アトリウムとエントランスの間に仮設間仕切壁を設置して、正面玄関と併せて再開（アトリウム工事完了までは1,503席のうち1階888席のみの利用）。
3/19	復（福）興祈念長谷の観音市ウオーク	日本町通りなどで大雪のため1か月遅れで開かれた「長谷の観音市」にあわせ、打吹公園の椿の平から長谷寺、八橋往来を通り、クラカフェまでの5kmで復（福）興ウオークを開催。
4/1	白壁倶楽部再開	地震により基礎のずれ、外壁の剥がれ、内部の壁面、窓の抜け落ち、什器の破損などが多数発生したが、日本財団の支援を受け原型どおりに復旧工事が完了し、レストラン＆カフェが営業を再開。

県中部地域における今後の主なスケジュール（予定を含む）

	平成30年		
	4～6月	7～9月	10～12月
地域づくり 地域防災力	震災復興活動 支援センター開所 道の駅琴の浦 オープン(4/29)	SUN-IN 未来ウォーク (復興記念 ウォーク)	三八市 ゆりはま 天女ウォーク SUN-IN 未来100km ウォーク
観光	鳥取・萩山とりミングバス運行 倉吉 春まつり 船上山 桜まつり 三徳山 御幸行列 三徳山入山再開 (仮設入山ルート)	日本災害看護 学会年次大会 イザ！カエルキャラバン！ inとっとり 水郷祭 白鳳祭 北栄砂丘 まつり	B級グルメ バトル 倉吉 ばえん祭 三佛寺 炎の祭典 健康と温泉 フォーラム 大山～関金温泉 ロングトレイル
産業	花と緑の フェア 中部発！食のみ やこフェスティバル	県産業安全 衛生大会 赤碓町漁協 海鮮祭	B C P シンポジウム 木の住まい フォーラム 赤碓町漁協秋 の大漁感謝祭 かに祭 山のまつり
その他	倉吉市給食 センター再開 倉吉未来中心 全館開館 中国地方 知事会議 北東アジア サミット WMG2021 県実行委員 会設立総会	倉吉市営温水 プールオープン R313災害復旧工事 完成・規制解除 全日本 クイック 1-ス選手権 すいか・ながいも 健康マソン	全国道の駅 シンポジウム 日本海 駅伝 片柴バイパス (県道鳥取鹿 野倉吉線) 全線開通 グラウンドゴルフ 国際大会 1年目 フォーラム とりアート中部 地区事業 (県)公共土木施設 災害復旧工事完了
			青山剛昌先生と 話そうDAY！ 円形校舎 フィギュア ミュージアム 竣工